

文化的景観の重要な景観構成要素

番号	久賀島ー1	種類	住居（久賀島）
名称	観光交流拠点センター（旧藤原邸）		
住所	五島市久賀町 103・104 合併		
所有者・管理者等	五島市		
概要	<p>本建造物の建築年代は明らかではないが、明治 20 年代に建て直されたとされており、家屋構造、敷地平面構造も五島に見られる武家屋敷造りと同様である。久賀島においては最古の部類に入る建築物であり、建築学的観点からも貴重な建築物である。</p> <p>旧所有者の藤原家は、17 世紀中ごろより、農林水産業を手広く経営し、久賀島の殖産に努め、明治以降の近代に入ってから、久賀島村長や村議会議長を輩出するなど、久賀島の行政発展に貢献した。</p> <p>平成 28 年に旧所有者から土地、建物の寄贈を受け、翌年度から重要文化的景観や世界遺産に関する情報発信施設として整備。</p> <p>平成 30 年 4 月より、久賀島観光交流拠点センターとして供用開始され、管理運営は地元の地域おこし団体が担っている。</p>		
本質的価値との関係	久賀島の生活・生業の歴史、発展を考慮するうえで欠かせない一族の旧邸宅である。		
構成要素内の重要な要素	石垣、庭園、井戸、敷地内の樹木、建物		
文化財等の指定状況（行為規制の状況）			
現状写真			



文化的景観の重要な景観構成要素

番号	久賀島一 2	種類	神社、寺、教会（久賀島）
名称	折紙神社		
住所	五島市久賀町 7 1 番地外		
所有者・管理者等	宗教法人 折紙神社		
概要	<p>折紙神社の創建年代は定かではない。古来より久賀島全体の総鎮守社であり、歴代藩主の崇敬が厚かった神社である。</p> <p>当初は、猪之木集落内に建てられていたが、明治 43 年（1910）に現在の境内地に移された。</p> <p>かつては、久賀島全集落により祀られていたが、現在は久賀島内部の久賀、市小木、大開、猪之木の 4 集落により祀られている。</p>		
本質的価値との関係	久賀島全体の鎮守社		
構成要素内の重要な要素	鳥居、狛犬、石垣、灯籠、土俵、境内内の樹木、参道、摂末社建物（本殿、拝殿、社務所）		
文化財等の指定状況（行為規制の状況）			

現状写真



文化的景観の重要な景観構成要素

番号	久賀島一 3	種類	神社、寺、教会（久賀島）
名称	禅海寺		
住所	五島市久賀町 9 4 番地第 2・9 5 番地合併		
所有者・管理者等	宗教法人 禅海寺		
概要	<p>禅海寺は久賀島唯一の寺である。創建は慶安 3 年（1650）に遡り、360 年の歴史を有している曹洞宗の古刹である。</p> <p>現在の本堂は平成 3 年に改築したものである。</p>		
本質的価値との関係	久賀島住民の信仰の対象（旦那寺）		
構成要素内の重要な要素	鐘、参道、灯籠、石碑、建物（本堂、山門、鐘楼、母屋）		
文化財等の指定状況（行為規制の状況）			

現状写真



文化的景観の重要な景観構成要素

番号	久賀島一4	種類	神社、寺、教会（久賀島）
名称	旧五輪教会堂		
住所	五島市蕨町993-11		
所有者・管理者等	五島市		
概要	<p>旧五輪教会堂は、もともと久賀島南部の浜脇の地に明治14年頃建てられた教会堂で、昭和6年老朽化が激しくなったためコンクリート造の教会堂への改築に伴い、現在地の五輪地区へ移築されたものである。</p> <p>その後、五輪地区の信徒たちによって管理されてきたが、海辺に建つ木造教会であるため老朽化が激しく、昭和60年に新教会堂建築に際し、解体の危機にさらされたが、関係者の努力により修復・保存されることとなった。</p> <p>旧五輪教会堂は、明治初期の教会建築史を物語る、歴史的建築様式を持つ貴重な文化財であり、平成11年5月に国の重要文化財に指定された。</p>		
本質的価値との関係	久賀島における宗教史の一端を示す建造物		
構成要素内の重要な要素	境内のサクラ、石垣		
文化財等の指定状況（行為規制の状況）	重要文化財		
現状写真			

文化的景観の重要な景観構成要素

番号	奈留島一1	種類	神社、寺、教会（奈留島）
名称	日枝神社		
住所	五島市奈留町大串 764 番地		
所有者・管理者等	宗教法人		
概要	<p>大串集落の鎮守社であり、由来ははっきりしないが、数名の平家の落人が住み着き、一宮を建立して信仰したことが始まりと伝えられている。明治 18 年には、それまでの拝殿を改築し 8 坪の社殿が建設され、昭和 2 年頃にはキビナゴ漁が豊漁になったことから現在の形となった。拝殿の外観には唐津から来た大工による彫り物が確認される。大串湾全体を眺めた時、日枝神社の立地場所が大串湾最奥部の中心に位置しており、文字通り集落景観、生業・生活の中心的な存在であったことがわかる。</p> <p>旧暦 9 月 25 日には神輿を担いで村を回る例大祭が開催されていた。</p>		
本質的価値との関係	大串集落の鎮守社		
構成要素内の重要な要素	石垣、参道、狛犬、灯籠、祠、境内の樹木、摂末社 建物（拝殿、神殿）		
文化財等の指定状況（行為規制の状況）			

現状写真



文化的景観の重要な景観構成要素

番号	奈留島ー2	種類	神社、寺、教会（奈留島）
名称	金毘羅宮		
住所	五島市奈留町大串		
所有者・管理者等	大串・江上町内会		
概要	<p>航海の神、豊漁の神である金毘羅宮は、漁業集落にとって、重要な信仰の要素である。</p> <p>漁業集落である大串集落にも、集落背後にそびえる山頂に豊漁と漁民の安全を祈る金比羅神社がある。さらに199段もの石段を上った山頂にあり、かつてキビナゴ漁が盛んであったころには参詣者が絶えなかったという。</p> <p>現在、道は整備されておらず、山頂のお堂までの経路も繁茂した樹木によって覆われてしまっている。お堂本体も草木に覆われており、ほとんど管理がなされていない。</p> <p>集落が賑わっていた頃には金比羅神社から集落を見下ろすことが可能であり、漁村集落の典型的な集落構造を呈していたことが伺える</p>		
本質的価値との関係	大串集落の生業に関わる信仰の対象		
構成要素内の重要な要素	参道、石段、石碑、灯籠、境内の樹木、祠		
現状写真			

文化的景観の重要な景観構成要素

番号	奈留島—3	種類	神社、寺、教会（奈留島）
名称	木徳宮		
住所	五島市奈留町大串		
所有者・管理者等	大串・江上町内会		
概要	<p>木徳宮は、大串集落に伝わる信仰の一つで、かつてあったタブノキの巨木を祭る祠である。毎年旧暦6月10日に近隣住民を集めて例祭が行われる。</p> <p>もともとは、祠に隣接する個人の屋敷神として祀られていたものが、近所の10件ほどで祀られるようになったという。</p> <p>祠の前には、戦前に掘られたという井戸があり、背後には、以前はタブノキの巨木がそびえ立っていたが、現在では枯死してしまい、人の背丈ほどの幹が残されている。</p> <p>大串のような漁村集落では、タブノキの巨木が、出漁の際の目印となる「当て木」として大切にされ、また信仰の対象となってきた事例が多いことから、この木徳宮は、大串集落の生活・生業に関わる重要な景観要素といえよう。</p>		
本質的価値との関係	大串集落における樹木(照葉樹)の利用の在り方を示す		
構成要素内の重要な要素	タブノキ、井戸、祠		
文化財等の指定状況（行為規制の状況）			
現状写真			



文化的景観の重要な景観構成要素

番号	奈留島—4	種類	神社、寺、教会（奈留島）
名称	江上天主堂		
住所	五島市奈留町大串 1131		
所有者・管理者等	宗教法人		
概要	<p>江上天主堂は、大串湾で行われたキビナゴ漁（地曳網漁）によって蓄えた資金を元手として、谷間に開けたわずかな平地を利用して大正 7 年（1918）に建設された。</p> <p>付近の湧水や背後の山から流れる流水などによる湿気を意識して床を高く上げ、軒裏には装飾を兼ねた通風口を設けるなど、伝統的な民家建築の建築意匠・工法にも共通する独特の意匠及び構造となっている。</p> <p>江上天主堂は、19 世紀以降の長崎県内において建築された木造教会堂の中でも最も整った意匠・構造を持つとされ、平成 20 年 6 月には、国の重要文化財に指定された。</p>		
本質的価値との関係	江上集落の信仰を現す建造物		
構成要素内の重要な要素	敷地内の石垣、排水路、旧司祭館（教会守待機所）、建物		
文化財等の指定状況（行為規制の状況）	重要文化財（敷地含む）		
現状写真			

